

平成 24 年度第 3 回診断評価等基準委員会議事録

開催日時：平成 24 年 10 月 27 日（土）7:15—8:00

開催場所：名古屋国際会議場 437 号室

出席者

紺野慎一（担当理事）、竹下克志（委員長）

金森昌彦、寒竹 司、田中信弘、種市 洋、松永俊二、笠井裕一、金山雅弘、橋爪 洋（委員）、川上 守、高橋和久、福井 充、松本守雄（アドバイザー）

欠席者

清水敬親、細野 昇（委員）、宮本雅史（アドバイザー）（五十音順）

議題

1. JOACMEQ、JOABPEQ 健常者調査について

① JOACMEQ 健常者調査について（担当：田中委員）

前回委員会で福井アドバイザーより、痛みの程度の評価として 10 cm 線分上のマーク（VAS）と数字(NRS)が記載されている場合があることが報告されていた（配布資料 1）。NRS を採用した場合の統計量を検討してみたが、サンプル数が少ないことに問題があり、今回はやはり VAS 線分上のマークを採択する方針が確認された。

② JOABPEQ 健常者調査について（担当：橋爪委員） 配布資料 2

橋爪委員より中心施設となる和歌山県立医科大学倫理委員会で研究計画が承認され、調査票もしくはクオカードの要請があった 8 施設には発送済み（クオカードのみ発送 5 施設、クオカードと調査票双方発送 3 施設）であること、残り 12 施設にはクオカードと調査票の双方を順次発送する予定であることが報告された。本研究計画は無記名アンケート調査であることから、分担施設で倫理委員会にて審議するか否かは各施設の基準に照らして判断する（不明な場合は倫理委員に問い合わせる）ことが確認された。調査期間のうち年末・年始の各 2 週間ずつは（社会心理のスコアが影響される可能性があることから）原則としてデータ収集を行わないこととなった。 調査終了は 2 月末日とすることとなった。

2. プロジェクト研究進行状況について

①「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」(担当：寒竹委員)

委員長より、各施設は今年度中に全症例のエントリー(各施設の分担は 5 例であるが、出来るだけ多くが望ましい)を終了することが要請された。

②「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的 (脊柱変形) パラメータを検討する多施設横断研究」(担当：種市委員) 配布資料 3

種市委員より参加施設に調査研究に必要な資料を発送済みであることが報告された。また、各施設の規定により画像データ出力が有償となる場合には、中心施設である獨協医大に費用を請求して欲しい旨の説明があった。

③「術者によって頸椎症の手術成績 (JOACMEQ) に差があるか」(担当：細野委員) 配付資料 4

細野委員からの報告書 (参加 5 施設とも倫理委員会の承認済みであること、各施設のエントリー数は順調に増えていること) が提示された。

3. その他

① プロジェクト研究へのインセンティブ

本委員会での案「指導医新規申請・更新時、登録 1 症例につき、手術症例 10 例に換算」については、理事会で再度話し合われる(現時点では pending である) ことが紺野担当理事より報告された。

② iPad での JOACMEQ、JOABPEQ の使用について

高橋和久アドバイザーより、iPad で JOACMEQ、JOABPEQ を使用出来るようにするためのソフトの提供について、製薬会社より申し出があったことが報告された。これとは別に福井アドバイザーより、有限会社アローネットからの「タブレット端末を使用した JOABPEQ、JOACMEQ」の運用イメージと見積書(資料 5) が提示された。

③ JOACMEQ、JOABPEQ マニュアル本の販売状況について

前回の委員会で松永委員から質問のあったマニュアル本の販売状況であるが、現時点ではまだ南江堂からの回答が得られていないことが報告された。

④ JOACMEQ、JOABPEQ タイ語バージョンの開発申込について

笠井委員より、JOACMEQ、JOABPEQ タイ語バージョンを開発したい旨の申込があったことが報告された。翻訳版の開発にあたっては、翻訳、逆翻訳、文化的適合、計量心理学的妥当性確認などの基準を満たす必要が

あり、条件が満たされた場合は本委員会から上部組織（JSSR 理事会もしくは JOA）に上申する方針が確認された。

4. 次回予定について

竹下委員長より平成 25 年 1 月 18 日（金）JSSR理事会後（17：00）とすることが提案された。